

日常療養・在宅医療を支える医療連携（医療介護連携）

～かかりつけ医／歯科医／薬局の課題について～

現状・課題	ご議論いただきたい視点
<ul style="list-style-type: none"> ○ アンケート結果からは、かかりつけ医に望むこととかかりつけ医が実施していることは概ね一致していた。 ○ かかりつけ医／歯科医／薬局を持つ市民の割合は、70歳以上又は要介護認定を受けている者になると、それぞれ69.8％／57.5％／48.1％である。 ○ 市民ワークショップでは、参加市民から、（日本では）患者とかかりつけ医等は外形的に決まっている又は固定されている関係ではなく、お互いがそのように思っているかどうか不安定な関係であることへの不安があったとの意見があった。 ○ 同じく市民ワークショップでは、参加市民から、将来的には、今のかかりつけ医等に在宅診療や往診を頼む状況が生じるかもしれないが、対応してもらえないかわからないとの意見があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ かかりつけ医／歯科医／薬局と患者が、お互いに、「かかりつけ」と「患者」であるとの関係性を構築するためには、何が重要か。 ・ 上記について、行政が支援できることがあるか。